

【船員】

◎主な配属先、業務内容

水産課



- 漁業取締船「若越（63トン）」を運行し、漁業法に基づく漁業取締りや指導、遊漁者・遊漁船業者への指導等を実施

水産試験場

- 漁業資源調査船「福井丸（165トン）」を運行し、本県沖合での水温・塩分・潮流等の観測や卵稚仔調査による海洋環境調査、トロール調査や曳航式VTR調査等によるズワイガニなどの資源量調査のほか、海底作濡による漁場環境改善の試験
- 沿岸調査船「若潮丸（19トン）」を運行し、沿岸での水温・塩分観測や採泥による環境調査、水中ビデオカメラによる人工魚礁や定置網の漁場調査



【船員】令和3年度採用



水産課

岸本 拓也

(清水海上技術短期大学校 専修科 卒業)



【主な担当業務】

- ・小浜漁港を母港とする漁業取締船「若越」に航海士として乗船
- ・洋上から違法操業の監視や指導、遊漁者への啓発活動
- ・陸上から違法な漁獲物がないか漁船を検査

◎ある一日のスケジュール

8:30 業務開始、 出港準備	8:40 出港、嶺北沖の漁 業取締り巡視	12:00 昼休み	13:00 嶺南沖の漁業取 締り巡視	16:00 帰港、給油	17:15 業務終了
-----------------------	----------------------------	--------------	--------------------------	----------------	---------------

◎福井県職員を志望した理由

高校を卒業し船舶免許を取得できる海上技術短期大学校に進学しました。卒業後は民間船に一旦就職しましたが、コンピューター専門学校に進み IT 企業への就職を考えました。しかし、**海での仕事、特に公務員としての船舶職員に魅力を感じて、地元福井県の船員職を選択**しました。

◎仕事をはじめて感じていること

海上技術短期大学校では航海技術や操船技術は学んでいましたが、**様々な漁船や操業方法、漁業関係の法令など覚えることはたくさんあり、戸惑いもありますが日々新鮮な気持ち**で取り組んでいます。

◎魅力・やりがい

若越の仕事は違法操業の取り締まり業務になりますが、**間接的に資源保護に役立ち、福井県の水産業の発展に役立っている**と思うと、やりがいと責任を感じています。

また、福井県の船舶職員の洋上勤務は日帰りまたは**1泊2日や2泊3日**が大半で、**基本的に土日祝日は勤務がないので、働き方としても非常に魅力**を感じています。

◎採用試験対策

海上技術短期大学校で使用した教科書で、当時の学習した知識を何度も振り返りました。また、面接に備えて、**なぜ公務員なのか、どうして船員を選んだのか**等の質問に答えられるように、自分の考えをまとめました。

◎後輩たちへ一言

福井県は**3隻の船舶を所有して取り締まりや調査など様々な仕事**をしています。洋上からは**風光明媚な若狭湾や越前海岸を楽しむ**こともできます。**船員として活躍したいと考えている方には、ぜひ公務員として福井県の船員職員も選択肢に入れて欲しい**です。